

農協と組合員をつなぐ広報誌

なかしゅんべつ



中春別小学校運動会が6月2日(日)晴天の中、盛会に開催されました。

父兄や仲間たちの声援の中、日頃の成果を十分に発揮。より絆も深まり、夏を思わせる熱い運動会となりました。



7月号

2019 Vol. 498

「豊かな魅力ある地域」と 「力強い農業」の実現を目指す



第45回中春別農業協同組合通常総会が6月7日(金)、農業者団地センターで開催されました。



議事を執り進める浮川氏(左)、中村氏

総会に先立ち優良組合員表彰、乳質改善・良質乳生産組合員表彰、経営移譲感謝状授与、永年勤続職員表彰、新規就農者激励授与が行われた後、小湊組合長から挨拶(別記参照)がありました。

総会の成立については、正組合員260人中、本人出席95人、書面及び代理出席

席109人が出席され、議長には豊原地区の中村貞志氏、美原地区の浮川優氏が指名されました。議事に入りました。

議案第1号「平成30年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び注記表の承認について」関連があるため議案第2号「令和元年度事業計画の設定について」、議案第3号「地域農業振興計画並びに第11次中期経営計画の設定について」、議案第4号「賦課金の賦課及び徴収方法について」が一括して上程されました。

続いて議案第5号「規



約付属書) 監事監査規定の一部変更について」、議案第6号「役員を選任について」、議案第7号「役員報酬の支給について」、議案第8号「退任役員に対する役員退職慰労金の支給について」、報告事項1「JAバン

第45回中春別農業協同組合通常総会

ク基本方針の変更について、「報告事項2「労働保険事務組合の平成30年度徴収・納付状況の報告について」、大山常務より説明され、それぞれ原案通り満場



議案、報告事項について説明を行う大山常務

一致で承認されました。議案審議終了後「J A北海道大会決議事項の着実な実践を通じた自己改革の取り組みに関する特別決議」について提案があり、満場一致で決議されました。

閉会にあたり、西川副組合長より「当農協は昨年ブランクアウトの際、いち早く廃棄乳の補填を発表し、10月に実行させていただき

ました。このことで組合員の皆様の中にある不満、不



閉会の挨拶を述べる西川副組合長

安を払拭し、前向きな営業に向かうことが出来たのではないかと思っております。時代は「農協を使え」ではなく「選ばれる農協」にならなくてはいけません。しかし、困ったときに寄り添える農協になるためにも一層、農協への結集をお願いするところです」と述べられ閉会いたしました。

平成30年度表彰者

○優良組合員表彰者

森田秀一（中春別地区）

○乳質改善・良質乳生産組合員表彰者

篠田翔司（豊原地区）

○経営移譲感謝状授与者

橋本嘉篤（豊原地区）

北村 昭（美原地区）

竹林政一（美原地区）

山田光男（美原地区）

藤原義輝（中春別地区）

伏見昭子（中春別地区）

小貫信夫（中春別地区）

○永年勤続職員表彰者

（30年勤続）

真部朝志

田中幸夫

○新規就農者激励状授与者

鈴木晴彦（中春別地区）

逢 淑霞



乳質改善・良質乳生産組合員表彰者・篠田翔司氏



経営移譲感謝状を受け取る山田光男氏



乳質改善・良質乳生産組合員表彰者・北村昭氏



経営移譲感謝状を受け取る俣伏見牧場・坂本正志氏



経営移譲感謝状を受け取る後継者・藤原寛史氏

総生産販売高157億3300万円 過去最高の実績



内部統制・体制整備の強化、信用事業の継続

本日は、公私共、ご多忙の中、ご臨席を賜りました行政、並びに系統連合会を始め、各関係機関と多数の組合員の皆様方のご出席のもと、本総会が開催されますことを厚くお礼を申し上げます。

さて、国内の近況であります。我が国の経済は、設備投資・輸出増などが堅調に推移し外需主導の背景により、雇用・所得環境の改

善や、個人消費が底堅く継続し、景気回復が進んでいると言われておりまして、この春、基調判断を引き下げ、後退したとしております。

貿易摩擦や為替、原油価格の動向など、世界経済の不確実性による景気後退のリスクが懸念され、先行き不透明な状況にあります。

国際貿易交渉につきましては、TPP11や日欧EPAと次々に協定が発効され、更にはアメリカとの2国間物品貿易協定における交渉が進められ、一層注視をするともに、貿易による国内農畜産物の影響が増す様であれば、食料安全保障の観点からも強い国境措置と対策を一丸となり、求めていかなければなりません。

こうした中、JA北海道大会で決議した「農業所得増大」「新規担い手の倍増」など、実践による自己改革を加速・拡充することとなっており、本日は、あらためて本総会におきまして、「着実な実践を通じた自己改革の取り組みに関する特別決議」の提案をし、「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域」の実現を目指すべく、決議をお願いするものであります。

また、農協改革集中推進期間を終え、総合農協として信用事業継続のため、JAバンク基本方針に沿い、内部統制・体制整備の強化に取り組み、信用事業の継続を取り進めてまいります。

本年度の酪農・畜産政策、価格対策は新たな加工原料乳生産者補給金制度の中、補給金・集送乳調整金合わせて単価が14銭引き上げの10円80銭となり、交付対象

数量は据置の340万トンで決定をされております。関連対策では畜産クラスター関連事業、国産チーズ競争力強化など、補正で前年並みに予算措置がされ、更には、中小酪農経営の強化に対しALIC事業予算が拡充し、国際貿易に対応する国内対策と、生産基盤の弱体化に対する予算が確保された内容となりました。

用途別原料乳価格につきましては、飲用価格の引き上げにより、プール乳価はチーズ品質向上対策を含めますと、100円超えとなり、過去最高水準の単価となりました。生産諸対策の活用を含めて経営基盤の確立を願うところでございます。

全戸に非常用発電機の設置

昨年度は周期的に変動する気象条件のもと、日本各地に記録的集中豪雨が発生し、勢力が衰えることなく上陸した大型台風など、日本各地に甚大な被害をもたらしました。

当地区におきましても、春先は牧草も順調に生育しておりますでしたが、その後干ばつ・低温が続き、6月の収穫期には、長雨により収穫作業が大幅に遅れ、粗飼料の品質低下による生乳生産への影響が心配されました。

そのような中、9月6日には胆振東部地震が発生し、震源地周辺では家屋の倒壊、山崩れにより、多数の尊い人命が失われるとともに、未曾有の被害となりました。また、地震発生と同時に北海道全域が停電となり、当地区を含め不安と混乱が生じ、通電までの間、全戸の搾乳を旨し非常用発電機所有者の協力をいただきながら、殆どの組合員は搾乳することができました。一部の組合員におきましては、容量不足により、通電まで搾乳することが出来ませんでした。改めて協力いただいた皆様には、お礼と感謝を申し上げます。この間の搾乳した生乳の廃棄の処理にご理解をいただいたところでもございます。

今後、地震や暴風雪などの自然災害も想定されることから、全戸の非常用発電機の設置をお願いするとともに、営農生活水の確保対策についても行政を始め関係機関と強力で連携し対策を講じてまいらなければなりません。

このような環境下でありましたが、平成30年度の当地区内の生乳生産量は、12万2504トンで、前年対比100・98%と過去最高の実績となりました。

搾乳戸数の減少や、自然災害による被災の中、生産現場において、組合員の皆様を始め、ご家族が一丸となつて、生乳生産に取り組まれた日々のご努力に対し、心から敬意を表するとともに、感謝を申し上げます。次第でございます。

「北海道生乳生産基盤・安定供給強化対策」は、全道一律の目標伸び率103%を基本としながら、各農協の生産意向数量を各農協の生産目標として位置づけられております。

当農協も出来る範囲で引き続き諸対策を講じてま

いますので、目標数量に近づけるべく達成を切願いたします。

より強固な財務基盤構築

当地区は三本の河川の流域内に位置しており、将来に亘り漁業との共存共栄ができる地域社会を作ることが必要であります。

組合員戸々の施設環境を確立する必要があり、本年度においても、国営環境保全型かんがい排水事業も進められております。

一方では別海パイオガス事業への利用をしながら、施設整備の補完として活用されますよう、引き続きお願い申し上げます。

平成30年度のJAの事業成果につきましては、生乳・個体を合わせた総生産販売高が157億3300万円と、過去最高の実績を挙げることができました。これもひとえに、組合員とご家族皆様方の継続性を持った日頃の弛まない努力と、JA事業へのご理解、ご利用の賜と、深く感謝する次第であります。

後ほど議案の中でご説明をいたしますが、磐石で強固な財務基盤構築のため、引き続き内部留保に向けたとともに、出資配当のご提案をさせていただきます。

組合員の皆様にはご理解を賜りたく、お願いするものでございます。

組合員あつてのJAであり、健全なJAであつてこそ、組合員への支援も出来ると思つておりますので、より一層のJA結集とJA利用について、お願いを申し上げます。

そして、本總會に向けては、各農事組合長を中心に、組合員皆様の多大なるご理解をいただき、また、特に今年度は役員改選期ということで、推薦委員・協力委員の皆様には、大変なご苦勞をおかけいたしました。が、本日、こうして議案の提出が出来ますことを、あらためて感謝申し上げます。

経営基盤の確立と経営体質の強化

平成28年度から令和2年

度を目標とした地域農業振興計画と、平成30年度を目標とした第10次中期経営計画「未来ある地域づくり活動の実践」を推進してまいりました。

各種事業の検証を行い、組合員の意向調査を踏まえ、新たな地域農業振興計画と第11次中期経営計画の策定を進めてまいりました。これら本日、總會へ提案いたしますが、組合員の皆様には今日の酪農情勢を好機と捉え、中長期的な視野で経営基盤の確立と経営体質の強化に前向きな姿勢で取り組んでいただくよう、重ねてお願い申し上げます。

担い手の確保・育成・支援のため、「株なかしゅんべつ未来牧場」の研修機能を持つ生産施設が本格稼働しており、先程、系統連合会より新規就農者への激励状を授与したところですが、なかしゅんべつ未来牧場で研修を重ね、初めての新規就農者であり、農協も全面的に関わりながら、地域を担う人材育成に取り組んでまいります。



中春別地域畜産クラスター協議会を始めとする、各関係機関との連携により、地域目標の共有と地域全体の取り組みにより、生産基盤の拡大と生産性向上を図り、収益力向上に向け農協事業を展開してまいりますので、組合員皆様を始め、各関係組織にはご協力いただけますよう、あらためてお願い申し上げます。結びになりますが、行政を始め、系統連合会、並びに各関係機関に対しまして、今後とも、より一層のご指導とご支援を、心からお願いを申し上げます。本總會開会にあたりましての挨拶とさせていただきます。



代表理事組合長就任にあたって

「未来ある地域づくり」を目指し

中春別農業協同組合 代表理事組合長 西川寛稔

組合長の就任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。去る6月7日に開催されました、第45回通常総会に於いて提出致しました、全議案原案通りご承認をいただき組合員の皆様方には改めてお礼申し上げます。また、本年は、役員改選が行われ小湊前組合長、佐藤前専務、藤倉前営農生産委員長、紫藤前代表監事が勇退されました。長年に亘り組合事業運営の先頭に立ち、舵取りをして戴いた労に敬意を表する所でございます。総会終了後、理事会の互選により、不肖私が組合長の大役を仰せつかり、その責任の重さを痛感している所でございます。

環境が変化する中、本年は政府が定める「農協改革集中推進期間」や中央会の組織変更など、農協改革にとつても節目の年となりますが、我々は第29回J A北海道大会決議の実践による自己改革について、不断の取り組みを推進していく必要があります。酪農畜産政策・価格対策については、中春別酪農対策協議会を中心に、今後の政策提案に向け、現場からの意見を積み上げ、万全の経営対策が講じられるよう連携を図っていく必要があります。また、牛乳・乳製品の需要の減少が続く中、酪農生産基盤の維持・発展のため、需要拡大に向けた取り組みにも取り組んでいかねばなりません。

本年度の総会でご承認いただきました地域農業振興計画並びに第11次中期経営計画は、第10次計画中期経営計画に引き続き、担い手確保と人材育成、地域の労働力確保、資源循環型草地利農の推進、災害時における防災対策の取り組みなどを柱に「未来ある地域づくり」を目指し取り組んで参ります。

専務理事就任にあたって

生産基盤づくりと健全な農協運営

中春別農業協同組合 専務理事 大山武永



1番牧草収穫期の中、組合員ご家族の皆様におかれましては、ご多忙な毎日をお過ごしのことと存じます。今年も、天候に恵まれ良質な牧草が収穫でき、事故無く作業が進むことを願うばかりでございます。

さて、私この度、第45回通常総会において理事に再任され、同日の理事会において

専務理事の重任を拝しました。これまで3期9年間、専務理事を務めさせて頂きましたが、改めて日々重責を実感しているところでございます。

今回の役員改選では、小湊前組合長、佐藤前専務、藤倉前営農生産委員長、紫藤前代表監事が勇退され、西川組合長のもと新体制がスタートしたところですが、気持ちを新たに、更なる時代に即した如何なる情勢の変化にも耐え得る盤石な生産基盤づくり、また、より健全な農協運営に努めて参りますので、組合員の皆様には何かとご指導頂ければ幸いです。

まずは、本年度の総会でご承認頂きました地域農業振興計画「未来ある地域づくり活動の実践」と、第11次農協中期経営計画を基に、役員一丸となつて事業計画に沿って取り進めていくことになりませんが、組合員の皆様には、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。



理事就任にあたって

地域のため責務を全う

中春別農業協同組合 理事 片野 大介

この度6月7日の第45回通常総会にて理事に就任させて頂きました。経験も少なく浅学非才の身であり、その重責に身の引き締まる思いです。

昨今の農業情勢は変革期を迎え、私達の経営も難しい判断を迫られる場面が近

づいてきていると感じています。資材、機械の高騰、下落を見せはじめた個体価格、脱粉在庫の積上、労働力不足など不安要素も見え隠れし、この様な大役を仰せつかるには誠に微力ではあります。役員各位ならびに組合員皆様のご指導

ご協力を仰ぎ、地域の皆様のために職責を全う出来るよう日々努力していく所存ですのでよろしくお願い申し上げます。この様な大役を仰せつかるには誠に微力ではあります。役員各位ならびに組合員皆様のご指導



監事就任にあたって

全力で職務に取り組む

中春別農業協同組合 監事 高橋 真悟

監事就任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

令和元年6月7日開催の通常総会において組合員の皆様にご承認いただき監事として就任いたしました。前任の原内前監事の意思を引き継ぎ、微力ながら職務

に全力で取り組んでいく所存でございます。就任すると権限の強大さと責任の重大さに戸惑うことばかりですが、就任した以上、日々の研鑽と努力を重ね、与えられた職責を果たすべく努力して参ります。

組合員の皆様方には、より一層のご理解とご協力を戴きます様心からお願い申し上げます。就任のご挨拶いたします。



常務理事就任にあたって

組合員の声を事業に反映

中春別農業協同組合 常務理事 登 義直

農繁期に入りお忙しい中、組合員の皆様におかれましては、益々のご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度の通常総会におきまして、学識経験理事に選任され、その後の理事会にて常務理事（信用事業担当）の重任を拝しました。責任の重大さを痛感し

ておりますが、組合長をはじめとする新体制のもと、役員共々職務の遂行に全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、本総会にて本年度をスタートとする地域農業振興計画「未来ある地域づくり活動の実践」並びに第11次中期経営計画のご承認をいただきました。これらの計画を着実に実践し、組合員皆様の声を事業に反映することを基本としてまいります。更なるご理解とご協力を重ねてお願いいたします。

終わりになりますが、農作業事故には十分留意され、ご家族ともにご隆盛されますことを祈念申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。





員外監事就任にあたって

業務遂行に全力を尽くします

中春別農業協同組合 員外監事 森 忠義

平素は格別なるご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度6月に開催されました通常総会におきまして、員外監事に就任す

ることになりました、(株)オーレンス総合経営の森忠義と申します。これまで

は、弊社において長らく会計・税務の仕事をしてまいりました。このような立場での業務は初めてであり、また、農業、農協を取り巻く情勢が一段と厳しさを増す中、その責務の重大さを痛感致しております。

組合の業務、会計にかかる監査に活かし、業務遂行に全力を尽くす所存でございますので、何卒、組合員の皆様のご協力とご指導ご支援を賜りますよう、お願い致します。ご挨拶とさせていただきます。

理事退任にあたって

6期18年を振り返り

中春別農業協同組合 元代表理事組合長 小湊 保



去る6月7日に開催されました第45回通常総会に於いて任期を終え組合長を退任いたしました。

お礼を申し上げます。特に本年は元号が平成から令和へ変わり、歴史的にも節目にあたり一層感慨深いものがあります。

組合に於いても毎年3〜4戸減少している状況でした。この不透明な酪農情勢の中、地域農業を守り組合員の負託に応えるべくチャレンジ計画と銘うって、地域農業振興計画を策定し

興計画の柱となっております。然しながらTPP11、日欧EPAなどの国際貿易の急速化、農協改革、改正畜安法の施行、畜産環境問題、疫病発生対策など、酪農畜産環境は内憂外患の課題に直面したところです。

現在、我が国は担い手確保問題、常態化している様々な自然災害への対応、更には日欧EPA、TPP11が合意され日米2国間TAG交渉も加速し、本格的な国際競争に身を投じる事となり、酪農業界は新たな転換期を迎えておりますが、この地を切り拓き地域酪農を確立した先人に習い、協同組合の精神のもと組合員の結集を図り、様々

平成13年に農協役員に就任し、副組合長、組合長として18年の間、組合員の皆様には浅学非才な私を後押しして頂いた事に厚く感謝を申し上げます。併せて任期中の運営・事業推進にご苦勞をかけながら一緒に行動にあたって頂いた役員、職員の方々にも重ねて

役員就任時からを振り返りますと、当時は乳価、個体販売価格の低迷、資材価格の高騰など、酪農情勢は以前として厳しく、担い手不足、負債の重圧により全国的に多くの酪農家が離農を余儀なくされ、戸数の減少に歯止めがかからず、当

「活気と潤いに満ちたため」とある中春別」を指し、営農支援を中心にシステム構築し、各取り組みを中期経営計画に盛り込み、各部門の事業を展開して参りました。以降2回策定した振

保問題、常態化している様々な自然災害への対応、更には日欧EPA、TPP11が合意され日米2国間TAG交渉も加速し、本格的な国際競争に身を投じる事となり、酪農業界は新たな転換期を迎えておりますが、この地を切り拓き地域酪農を確立した先人に習い、協同組合の精神のもと組合員の結集を図り、様々

私も今後は一組合員として、農協、組合員の応援をし、中春別酪農の行末を見守ってまいります。役員期間中にご協力、ご支援をいただきました組合員を始め、役員、各関係者の皆様に重ねてお礼を申し上げます。長い間、ありがとうございました。



理事退任にあたって

地域の仲間を思い18年

中春別農業協同組合 元理事 藤倉 紀夫

理事退任にあたり、一言
お礼の言葉を申し上げます。

令和の時代になり、時の
変化を感じている所であり
ます。組合員、職員の皆様には
大変お世話になった事、
今かみしめている所でござ
います。改めて深く感謝申
し上げます。



理事退任にあたって

43年間お世話になりました

中春別農業協同組合 元専務理事 佐藤 猛

この度、任期満了により
第45回通常総会をもって退
任を致しました。職員とし
て28年間、役員として15年
間、通算43年間を無事過ご

せましたこと、組合員を始
め、役員の方には、大
変お世話になり感謝を申し
上げます。

例えば、昭和51年に入組

生産委員会に入り、6期の
任期でしたが組合員の営
農、生活を守る農協として
何が出来るのかのスタート
でした。また、1期目から酪
農対策協議会会長として休
む暇なく、現場の声をいろ
いろなところに伝えました。

この年に国内で初の狂牛病
発症ということで、組合員
を守る立場から農水省・国
会議員を始め、いろいろな

所と話をしたことを思い出
しています。アメリカでは同
時多発テロ事件があり、驚
くことばかりでした。

後継者対策協議会会長と
しても、様々な人との出会い
の難しさを感じる所です。
た。未来ある時代をつなぐ
若い人たちに、どうしたら
良い出会いがあるか考えさ
せられました。

員長の時代は、消費者の安
全・安心志向の中で乳質改
善に向け何とか対策を講じ
なければと思っているうち
に、時間だけが過ぎたよう
な気がしています。

人では何もできない、地域の
仲間の大切さを常に思っ
ています。

最後になりますが、6期
18年間理事として、また、最
初から営農生産委員会に属
してまいりました。在任中
につきましては、組合員の皆
様にご協力いただいた事に
心から厚くお礼申し上げます。
今後につきましては、本
業の酪農を手伝い、微力で
はございますが地域発展の
為、努力して参りたいと思
いますので、これまでと変わ
らぬ一層のご指導を賜りま
す様お願い申し上げます。ありがと
うございました。

し、営農部門を初めとし
て、新酪事業、自給特対事
業、公社営事業などの補助
事業に関わり、今日酪農の
先駆けとも言える事業の取

り組みであったことを懐か
しく、また、誇らしく想い
出しております。

この間、組合員の皆様には、懇談会、各催事などを
通じ公私共にご指導頂きま
したこと、重ねて感謝とお
礼を申し上げます。今まで
培った経験を活かしこれか
らの人生、43年間の農協人
としての誇りを持ち、焦ら
ずゆつくりと過ごすつもり

結びになりますが、新執
行体制のもと、中春別農協
の更なるご発展を祈念しつ
つ、永きに亘りお世話にな
りましたこと、心より感謝
を申し上げます。大変ありがと
うございました。



監事退任にあたって

基盤の強化に努めて下さい

中春別農業協同組合 元監事 紫藤 正幸

農協監事として在任中は
お世話になりました。こう
して無事、任期を終了する
ことが出来ましたことに心
より感謝申し上げます。監
事として私を支えていただ

いた監事会・理事会の皆さ
ん、担当事務局の農協職員
の皆さんには特にお世話に
なりました。
9年間、何回となく行っ
た監査では、文章の苦手な

私は講評を文章にする事が
大変で、ましてや理事会に
提出する総評は、毎回苦勞
した思い出があります。ま
た、根室・釧路管内の各
JAの監事さん達とも会議

や交流ができ、大いに見聞
を拡げることが出来まし
た。今でもJAの枠を超え
た付き合いをさせていただ
いています。
近年、酪農情勢も大いに
変わり、畜産物の高値に支
えられ、組合員の好調な取
支状況が続いています。こ
ういう時こそ、組合員皆様
は個々の経営を見つめ直
し、基盤の強化に努めてい
ただきたいと思えますし、

そのためにも役員・職員が
一丸となって英知を出し、
組合運営に当たっていただ
きたいと思えます。
最後になりますが、この
様な機会をあたえてくれた
ことに感謝を申し上げます。退
任の挨拶といたします。あ
りがとうございました。

事業継続の重要性など要請活動を実施

6月8日(土)中春別酪農対策協議会(伊藤一吉会長)では、
農業者団地センターにおいて西川組合長、西原町議ほか来
賓出席の中で第44回通常総会を開催いたしました。

開会にあたり伊藤会長よ
り「今後の運動展開にあ

実施し、中央要請や農林水
産省生産局との意見交換で

たつては、常任委員が一致団
結して積極的な活動展開を



は生産者の声を直接中央へ
届け、経営安定対策や関連
対策を中心に事業継続の重
要性など要請活動を行い、
道農政部との意見交換で
は、胆振東部地震において
浮き彫りとなった災害対策
の重要性や、収穫時期の長
雨における粗飼料確保対策
の予算措置に加え、新規就
農対策及び担い手対策につ
いて理解を求めべく要請
をいたしました。また、生活
クラブ連合会主催の夢都里
路くらぶ企画説明会へ参加
し、生産者と消費者の情報

交換を行い、全道・地区酪
対に關しては、組織討議に
よる提言を積極的に行つて
まいりました」と挨拶が述べ



られ、引き続き、農協を代表
して西川組合長、来賓を代
表して西原町議より酪農情
勢などを交えたご祝辞をい
ただき議事へと移りました。
議長には中春別地区の久
慈真咲氏が選出され、議案
第1号から第4号まで全議
案可決決定されました。
令和元年度の新役員構成は
次の通りです。

- 会 長 山崎浩二(新)
- 副会長 浮川 優(再)
- 副会長 中村貞志(再)
- 副会長 村山英司(新)
- 会 計 片岡卓也(再)
- 監 事 伊藤孝彦(再)
- 監 事 山本広行(再)
- 監 事 中島哲郎(新)

安全・安心な農場づくりを目指して

豊原酪農振興会(中村貞志会長)では、6月10日(月)にGAPの取り組みを行っている北海道中標津農業高等学校へ22人の参加者のもと、視察研修を開催しました。

最初に講師の吉田氏と、実際にGAPの取り組みを行っている学生に、取り組み内容について説明をいただきました。

本校は、農場としては9頭の牛を飼養しており、120項目以上ある基準をクリアするのに1年以上も費やし認定農場へとなったことでした。特に学生たちは「作業の見える化」ということに要点を置き、家族、従業員の誰が来てもらうように作業用具の整理整頓や作業風景を動画に落とし、初めて来た人でもわかりやすく工夫して



いるとのことでした。

実際に農場を視察させていただき施設内、牛舎内ともに整理整頓されており、誰が見てもわかりやすくなっていました。また、牛舎と搾乳室を隔離するために廃材を使って屏を作るなどコスト削減にも取り組んでいました。

他にも、臭気対策や「カウコンフォート」への追及など、牛への配慮に重視をしているとのことでした。

今回の視察を通じて、経営をしながらGAPに取り組むことの重要性や大変さなど、知識向上へと繋がりました。これを機に、少しずつでもGAPに取り組むことを意識して、安全や環境に配慮した農場づくりや地域発展へと繋げていきたいと思います。

来賓の西川組合長の挨拶の後、議案に入り第1号議案から第3号議案まで可決承認されました。

第4期中山間事業が、27年よりスタートし第3期からの継続的事业を中心に取り組みを展開して参りました。

今期で最終年を迎える第4期中山間事業も、継続的な事業と地域活性化を図るため担い手育成支援強化など、農業農村のもつ多面的機能の維持発揮を図り、協定者の皆様に理解していただけるように取り組んで参ります。

今年度の新たな取り組みとしては、担い手対策経費として担い手の育成及び確保に向けた組織の広告・周知

平成30年度中春別サブ集落総会

継続的な事業と地域活性化に向けて

平成30年度中春別サブ集落総会が6月11日(火)開催されました。



などに対する助成を行う事となりました。

なお、令和元年度中春別サブ集落新役員については、以下の通りとなっております。

集落長	遠藤 均
副集落長	紫藤 有策
会 計	服部 恒洋
監 事	売場 純
幹 事	小湊 均
幹 事	長沼 徹
幹 事	原内 修
幹 事	片野 大介
幹 事	増岡 耕平
幹 事	池田 正人
幹 事	藤倉香津靖



根室地区青協・北海道教育大釧路校ファームステイ受入事業

酪農体験で食農・命の大切さを学ぶ

今年で7年目を迎える、根室地区青年部協議会主催の教育大生ファームステイ受入事業が5月31日(金)～6月2日(日)にかけて開催されました。管内の青年部員が受け入れをし、当地区より中春別地区の中山泰輔さん、内藤俊さんが2人ずつ受け入れをし、4人の教育大生がファームステイ体験を行いました。

初日は当JAにて入村式が開かれました。酪農に関する事前学習会を地区青協役員説明のもと行われ、入村式へと移りました。

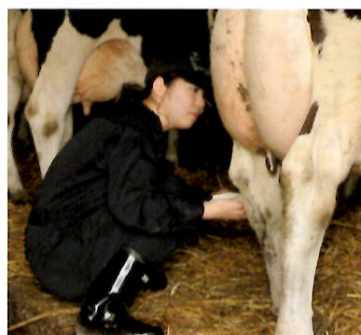
遠藤会長、小湊組合長より挨拶をいただき、受け入れ盟友と学生の顔合わせが行われ、顔合わせの際には盟友と学生の仲を深めることを目的に、自己紹介を実施。お互いのニックネームの紹介や酪農体験での目標などを共有し、距離も縮まり入村式を終えました。

将来、子供たちに地域の特徴をいかした学習活動を

牧場に着き1泊2日の酪



農体験が始まりました。牛舎清掃や搾乳などといった、慣れない作業に戸惑いながらも取りかかり、積極的に学ぼうとする教育大生。作業後は受け入れ農家の家族と夕食を囲み、1日



目を終えました。

学生に話を聞いたところ「将来、道東地域での教員を目指しており、子供たちを教育するうえで、地域の特徴を活かした学習活動を考えていけたらと思います」「酪農に関する知識向上と大変さを身体で体感したく参加をしました」と参加への思いを話していただきました。

乳製品を使った調理実習を体験

2日目は、早朝からの作



業。前日の手順を思い出し、スムーズな手つきで早々と作業を終えました。場所を移し中標津町しるべつとにて、地区女性部との乳製品を使った調理実習を行いました。調理したメニューは「春の五日野菜牛乳煮」、完成後は昼食をとり、最後には記念撮影をして2日目が終了しました。

酪農の印象、食育に対する考えを発表

3日目の最終日、振り返り発表会が行われ、体験の前後で変わった酪農の印象や感じたこと、食育に対す

る考えについて発表しました。

終了後は受け入れ盟友とのバーベキュー交流会を開催し、最後に参加者全員で記念撮影を撮り酪農体験が終了しました。

受け入れ終了後、盟友からは「体験をする上で、安全を意識したりと、かなり不安な面もあったが、積極的な作業に取り組み常に学ぼうと取り組む姿勢に感心しました」と感想をいただきました。今後も酪農体験を通じて、農村地域・酪農への理解醸成につなげていけたらと思います。

ホクレン中標津支所と根室地区青協との意見交換会

意見交換会を通し結びつきを強化

ホクレン中標津支所と根室地区青協との意見交換会が、6月11日(火)根室農業会館にて開催され、当青年部より山田部長、相澤副部長、佐々木克典部長が出席しました。

ホクレンの事業理解醸成や各担当者との結びつきを強めることを目的に開催しており、当日は約40人が会場に集いました。

前半では、各課より現在の事業内容や今後の展望といった情勢報告をいただき、説明の後、意見交換が行われました。たくさんの盟友より率直な意見などが挙げられており、充実した意見交換となりました。



国産飼料の今後の展望

後半では、畜産生産課に



よる情勢報告と「国産飼料の今後の展望」と題した、飼料に係る研修会が行われました。

終了後は場所を移し、懇親会を開催しました。焼肉に舌つづみをうちながら、意見交換会では話せなかったことや、プライベートな話など会話に華を咲かせました。

今回の意見交換会を機に、ホクレン中標津支所と青年部との繋がりがより増し、今後の経営へと役立っていただけではないと思えます。

草地整備事業に係る勉強会

収穫作業に向け、作業機メンテナンスの再確認を



土屋工場長よりメンテナンスの説明が行われました

青年部研修部会(久保部会長)では、部員を対象とした勉強会を、6月4日(有)中春別マシンセンターにて開催しました。

当日は、青年部の他に、みらい塾生、農協職員、未来牧場研修生など多くの参加者が集いました。

今回の勉強会では「牧草収穫機械メンテナンス」と題し、(有)中春別マシンセンター・土屋工場長を講師に実施しました。

点検用紙をもとに各部位ごとの点検要領や重要点など、細かい説明をいただきました。説明の都度、質疑応答を行い、参加者それぞれが思う疑問点や興味のある内容などを質問して、より深く理解することができました。最後に久保部会長より挨拶をいただき勉強会が終了しました。

将来、経営移譲をされ酪農業を先進していく青年部員にとって、今後の酪農経営に大いに役立つ有意義な勉強会となりました。

花壇を鮮やかに彩りました 農協前花壇花植え

女性部では5月30日(木)に農協前花壇の整備と花植えを行いました。雑草抜きと土おこしを行った後、マルチシート張り、サルビアやマリーゴールドなどの花の苗を768本植えました。

八角の木の花壇に色別に植えてありますので、見る人の場所によって咲いている花の色が違い、様々な角度から楽しめます。

農協女性部では毎年部員の皆様と一緒に花と緑にかかわる活動として、1年を通し美しい花壇づくりを行ってまいります。花壇の草取り作業を行うなど心のこもった手入れが続けられることで、今年1年中、花が絶えることのない、花壇づくりを続けていきたいと思っています。



素敵な作品ができました カルトナージュ作り

趣味の会では6月5日(木)にカルトナージュ作りを行いました。

カルトナージュとは、カルトン紙を組み立てて作った箱を布や紙で装飾した物を言います。それぞれ好きな布を装飾し、リボンやレースなどを貼りつけ世界に一つだけの収納箱が出来上がりました。参加者のみなさんは出来上がった箱に何を入れようか楽しみなようでした。



助け合い、支え合い、知恵を出し合い活動

古き良き小樽の町で心身ともにリフレッシュ

6月11日(火)〜12日(水)の1泊2日の日程で宿泊研修を行いました。小樽硝子屋本舗和蔵では小樽



伝統の硝子製品作成を体験し、それぞれ吹きガラス・フュージン・サンドブラスト・とんぼ玉作りを行いました。店内に飾られている見本はどれも素敵で、2種類作る方もいらっしやいました。小樽の運河沿いを散策しながら立ち並ぶお店には綺麗な硝子製品が並んでおり、家族や自分のお土産を探し、楽しめましたよう。「以前自分で来た時よりも新しいお店が増えていてどこを見ても楽しい気分になる、また来たいです」と、とても楽しめたようでした。



女性部

女性部
寄せ植え講習会

昨年よりグレードアップした 作品ができました

ハートフラワーチャペリーの篠田さんらを講師にお招きし、寄せ植え講習会を6月17日(月)開催しました。

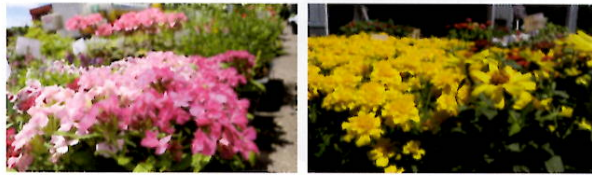


い土にすることが大切です。花によつて苦手な場所、得意な場所があるため、どこに飾りたいのかを意識しながら、アレンジすると更

「マリーゴールドは虫よけにもなるため、鉢に一株おススメします。花を元気に育てるにはやせた土地にしないように、腐葉土と培養土を適度に混ぜ肥料もちの良

に良いものができますよ」とのアドバイスを受け、それぞれ考えながら素敵な作品が出来上がりました。

大きな鉢で作る寄せ植えも教えていただき、背の高い花と背の低い花を互い違いに植えていくと、低い花の間から高い花が綺麗に見えることなどを教えていただきました。農協前の電灯横に飾っているので農協にお越しの際はぜひご覧ください。



女性部の活動をピックアップ

女性部
木の実部会

国指定史跡を見学してきました 視察研修

木の实部会では6月13日(木)に旧奥行白駒通所での視察研修を行いました。

旧奥行白駒通所はこれまでも修理をしながら一般公開を続けてきましたが、屋根の破損による雨漏りなどにより平成27年より保存修理工事が開始され、3年の



月日と2億7千万円をかけて修理をし、5月1日から一般公開が再開されました。

別海町文化財保護審議会の方に説明をしていただきながら各



部屋を回り、展示物などから当時の方たちがどのような暮らしをしていたかを考えながらの視察研修となりました。

家の光・女性組織についての
研修を行いました

JA根室地区女性部研修会が、6月14日に中標津町ウエディングプラザ寿宴にて開催され、当農協女性部から12人の部員が出席いたしました。

研修内容は家の光協会の廣井氏と文芸アナリスト、食料・農業・農村ジャーナリストの大金氏を講師に招き、「家の光情勢報告」・「わたし・なかま・ちいきへと広がる共同の輪」元氣・やる氣・本氣・勇氣は伝染する！と題し、講演を行いました。今回の目的であるJA運動への理解と参加促進、各種文化活動の展開、女性部組織を一層活性化させることと部員間交流をすることを先人の格言と



もに解説していただき、参加された皆さんは熱心に聞き入っていました。

別海北部地区環境保全推進協議会総会

事業の進捗状況の報告
全議案が可決承認

国営環境保全型かんがい排水事業

別海北部地区環境保全推進協議会（小野榮一会長）では、6月5日（水）JA中春別農業者団地センターにおいて通常総会を開催いたしました。



開会にあたり小野会長より事業進捗状況などの報告があり、引き続き釧路開発建設部根室農業事務所の高田所長よりご挨拶をいただき議事に入りました。

議長には上春別南ブロックの羽石理事があたり、全議案可決承認されました。釧路開発建設部根室農業事務所からは、昨年までの国営かんがい排水事業進捗状況と令和元年度の事業実施計画について説明があり、別海町役場農政課からは太陽光発電の売電状況などについての説明がありました。

令和元年度の新役員構成は次の通りです。

- 会長 小野 榮一（中春別）
- 副会長 橋本 明雄（上春別北）
- 副会長 中垣 博志（本別）
- 理事 伊藤 一吉（豊原）
- 理事 加藤 真純（美原）
- 理事 坂野下貴志（別海）
- 理事 長谷川幸一（中西別）
- 理事 羽石 健一（上春別南）
- 理事 多田 稔（西春別）
- 理事 石毛 剛（計根別）



「黒毛和種も分娩前の管理が重要!!」

黒毛和種も乳牛と同様に、母牛と胎児の栄養充足、分娩後の初乳の品質や量を確保するために、分娩前からの十分な栄養摂取（特に蛋白質）が必要になります。産まれた子牛の体重が軽く、虚弱傾向だったり、貧血や白痢が多発している場合は、

母子共に栄養不足が考えられます。まずは母牛に腹一杯食べてもらうことが必要です。粗飼料の品質はどうでしょうか？ 給与される粗飼料に合わせ、濃厚飼料の増給または加熱大豆粕などの蛋白質飼料の給与を検討しましょう（表1）。

表1 分娩前の給与量の目安(日/kg)

	分娩2カ月前	分娩1カ月前
粗飼料(乾草・グラスサイレージ)	6.5~8.0	6.5~8.0
配合飼料(CP18 TDN72程度)	1.0~2.0	1.0~3.0
加熱大豆粕	0~0.3	0~0.3

目標とする生時体重
 ・雄子牛:35kg以上
 (初産や田尻系の場合
 は雌子牛に準じる)
 ・雌子牛:31kg以上

根室和牛マニュアルより抜粋

分娩前（妊娠後期）に栄養を充足させることができれば、十分な生時体重が得られ、疾病にかかりにくい丈夫な子牛を生産することが期待できます。図1は、黒毛和種雄子牛の生時体重と日齢体重の関係を示したグラフです。生時体重が重いほど日齢体重が増える傾向があります。結果的に発育が良くなる

ことで、出荷時の体重も増え、出荷価格の向上が期待されます。

分娩前の増し飼いを実施して難産が増えた場合は、母牛の発育不良や、増し飼開始のタイミング、無理な交配計画など、改めて農場の課題を洗い出し、飼養管理や交配計画を見直す必要があります。

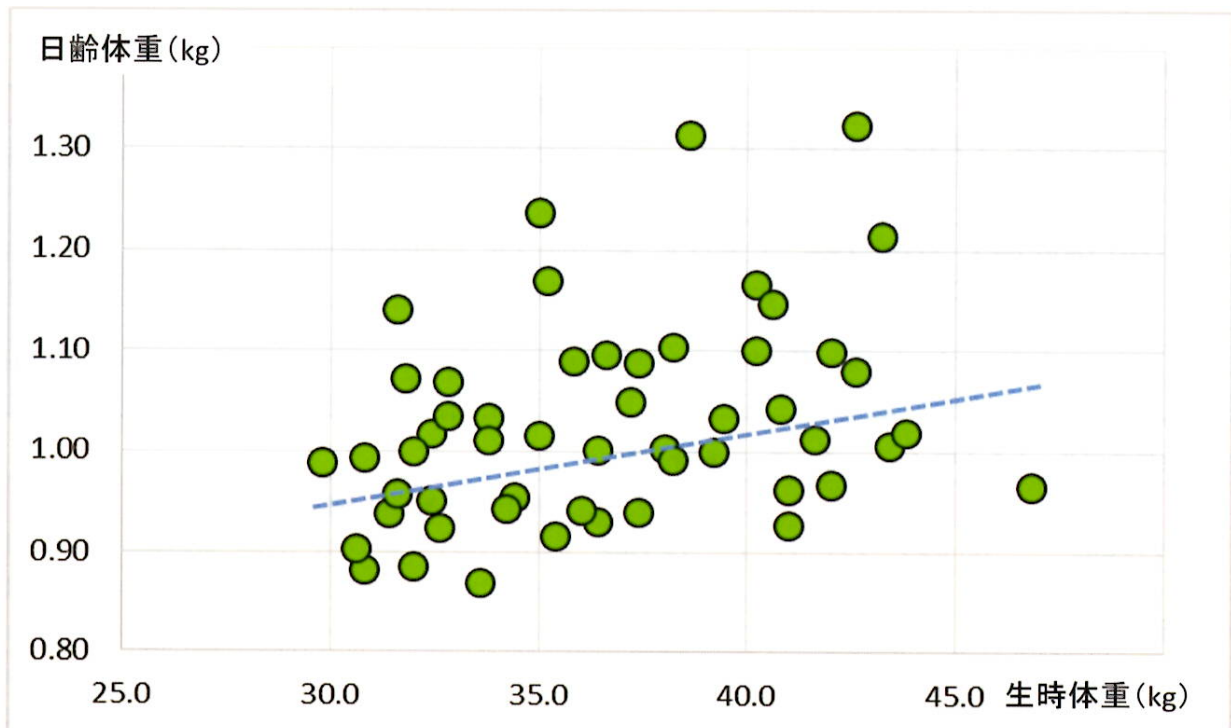


図1 黒毛和種雄子牛の生時体重と日齢体重の関係 (普及センター調べ)



ハイレベルな戦いが繰り広げられました

5月10日(金)中標津町ホクレン根室地区家畜市場において、今シーズンのショウの開幕となる2019年根室ブラック&ホワイトショウが行われました。

審査員には遠軽町酪農家 木村吉里氏が務め、ショウ当日は好天に恵まれ総出品頭数79頭、当同志会からは4戸8頭が出品されました。

グラランド・チャンピオンには道東あさひ根室 中川佳代さん出品の「センターランド バーリー サンチエス」、リザーブ・グラランド・チャンピオンには

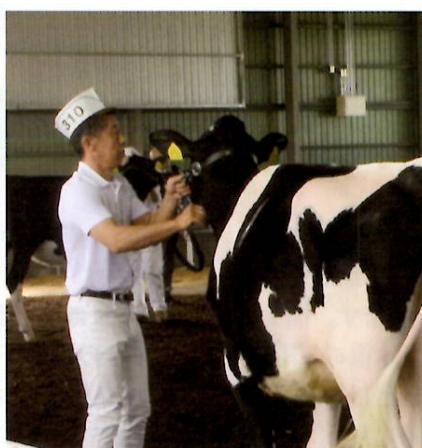


同志会対抗戦では3位に入りました

道東あさひ別海(株) Dairy Holsteinsさん出品の「ダイアリー バーク ゴールド カプリ」が輝きました。1つでも順位が上がる様、出品関係者全員が一致団結し、ショウに向け準備を進めていました。



今シーズンの開幕



当日は晴天に恵まれました

中春別乳牛改良同志会出品牛成績

部	順位	名	号	生年月日	父牛名号	出品者
1	3	プロミネンス ドアマン	ロケット ET	H30.10.25	バルビツソン ドアマン ET	寺澤 佳吾
1	7	プロミネンス チョーズ	モントレー	H30.9.1	ビユーホーム モントレー ET	寺澤 佳吾
2	7	プロミネンス トニー	ブリス ドアマン ET	H30.6.2	バルビツソン ドアマン ET	寺澤 佳吾
3	9	クリスタルソース	ジエニファー エンジェル ET	H30.4.6	バルビツソン ドアマン ET	佐々木靖裕
3	12	SBF サンシャイン	DMN メアリー	H30.4.19	バルビツソン ドアマン ET	竹田 潤
3	3	YMD ロクセツ	GC クラツシュ ヒナ	H30.3.3	マーベリック クラツシュ	山田 侑甫
5	6	エレベーション	オーク マーガレット	H29.10.11	デスー BKM マツカチエン 1174 ET	佐々木靖裕
13	4	プロミネンス	パラゴン クリステイーナ アイオーン	H25.12.14	ミッドフィールド CCM アイオーン	寺澤 佳吾

2019年根室ブラック&ホワイトショウ チャンピオン牛

	部	名	号	生年月日	父牛名号	出品者
グラド・チャンピオン	13	センターランド	バーリー サンチエス	H23.1.20	ジェンマーク ストーマテック サンチエス	JA 道東あさひ根室 中川 佳代
シニア・チャンピオン	13	センターランド	バーリー サンチエス	H23.1.20	ジェンマーク ストーマテック サンチエス	JA 道東あさひ根室 中川 佳代
リザーブ・グラド・チャンピオン	12	ダイアリー	バーク ゴールド カプリ	H26.6.28	ミスター チヤンティン ゴールドトップ	JA 道東あさひ別海 ㈱ Dairy Holsteins
リザーブ・シニア・チャンピオン	12	ダイアリー	バーク ゴールド カプリ	H26.6.28	ミスター チヤンティン ゴールドトップ	JA 道東あさひ別海 ㈱ Dairy Holsteins
インターミディエイト・チャンピオン	11	アースイースト	ネット マツカチエン	H27.9.11	デスー BKM マツカチエン 1174 ET	JA 中標津 佐々木宏之
リザーブ・インターミディエイト・チャンピオン	9	センターリバー	スナツチ アンナ エコー ET	H28.11.21	デスー BKM マツカチエン 1174 ET	JA 中標津 中川 将
ジュニア・チャンピオン	3	HEF	ビーエス オリμπピア ET	H30.3.14	ミスター アウトウト フロカウ ET	JA 計根別 ㈱ハイトファーム
リザーブ・ジュニア・チャンピオン	3	グローリアス	ハツピー ソロモン パテイ	H30.4.23	ウォールナツローン ソロモン ET	JA 道東あさひ別海 丹羽 務

北海道ブラック&ホワイトショウ

続いて5月25日(土)、26日(日)の2日間に渡り、安平町早来北海道ホルスタイン共進会場において2019北海道ブラック&ホワイトショウが開催されました。

審査員には北見市酪農家山内誠氏が務め、総出品頭数313頭(ジャージ種含む)の中、各部ハイレベルな戦いが繰り広げられました。

根室管内からは18頭が出品され、当同志会からは寺澤佳吾さん、山田侑甫さんの2人が2頭を出品し、中でも山田侑甫さん出品の「YMD ロクセツト クラツシユ ヒナ」が第3部未經産ジュニアクラスに出品し、出品頭数が40頭近い中、第3位に入る活躍を見せました。

グラント・チャンピオンには清水町(旬)田中牧場出品の「TMF ナデイル アツト アンナ エコー」が輝き、ジュニア・チャンピオンには別海町・菊池正明さん出品の「パロンドール ドアマン メラニー ET」が、根室管内からは実に15年ぶりとなるジュニア・チャンピオ

ンを獲得しました。

根室管内出品牛の多くも上位に入り、カウンティハーブ(支庁対抗戦)では3位に入りました。

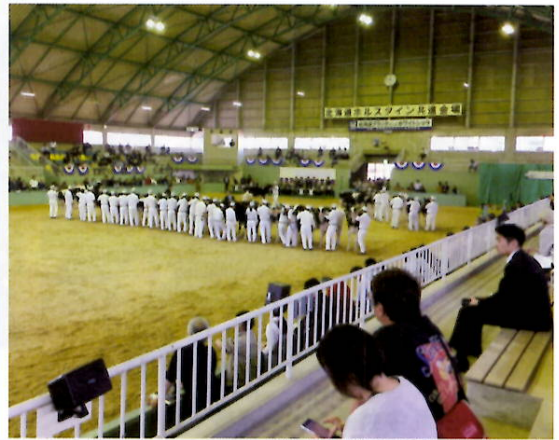
昨年9月に発生した北海道胆振東部地震の影響により同会場で開催されるショウは1年ぶりとなります。震源地から近かった町内にはまだ地震の爪痕も残っていました。が、着実に復興へ歩みを進めているように感じました。



見事3位に!!



上位に入りました



全道各地より313頭が集まりました

中春別乳牛改良同志会出品牛成績

部	順位	名	号	生年月日	父牛名号	出品者
1	8	プロミネンス	ドアマン ロケット ET	H30.10.25	バルビツソン ドアマン ET	寺澤 佳吾
3	3	YMD	ロクセツト GC クラツシユ ヒナ	H30.3.3	マーベリック クラツシユ	山田 侑甫

2019北海道ブラック&ホワイトショウ チャンピオン牛

	部	名	号	生年月日	父牛名号	出品者
グラント・チャンピオン	14	TMF	ナデイル アツト アンナ エコー	H24.12.31	メープルダウンスアイ G W アツトウツト ET	清水町 (旬)田中牧場
シニア・チャンピオン	14	TMF	ナデイル アツト アンナ エコー	H24.12.31	メープルダウンスアイ G W アツトウツト ET	清水町 (旬)田中牧場
リザーブ・グラント・チャンピオン	14	アマダ	プリンセス ゴールド チツブ ローザ	H25.5.27	ミスター チャシテイー ゴールドチツブ ET	陸別町 (旬)編田牧場
リザーブ・シニア・チャンピオン	14	アマダ	プリンセス ゴールド チツブ ローザ	H25.5.27	ミスター チャシテイー ゴールドチツブ ET	陸別町 (旬)編田牧場
インターミディエイト・チャンピオン	10	エルムレーン	ゴールド マツカチエン パラダイス	H28.1.2	デュー BKM マツカチエン 1174 ET	恵庭市 (旬)福屋牧場
リザーブ・インターミディエイト・チャンピオン	11	クレイジヤスクール	モンスター ルーシー	H27.11.11	ウォールナツトローン ブレーク ET	置戸町 (旬)小山牧場
ジュニア・チャンピオン	2	パロンドール	ドアマン メラニー ET	H30.7.17	バルビツソン ドアマン ET	別海町 菊池 正明
リザーブ・ジュニア・チャンピオン	3	アーノルド	ドアマン ベスト ET	H30.3.4	バルビツソン ドアマン ET	新ひだか町 佐々木克博

レベルの高い競い合いが 練り広げられました

JA中春別乳牛共進会が6月1日(土)に(株)なかしゅんべつ未来牧場共和育成センター共進会場にて開催されました。

開催に先立ち牛魂祭及び農作業安全祈願祭が執り行われました。

当日は晴天に恵まれ、出品者の皆様が日頃から手塩にかけて育ててきた33頭の牛達が一堂に会しました。



審査員は、別海町酪農家の酒井保幸氏が務められました。酒井氏は自身初の審査でありましたが、迅速且つ丁寧な審査をしていただきました。審査の結果、シニアチャンピオンに山田光男さん出品「ライプリー K アツトウツド リリー」が、ジュニアチャンピオンには山田侑甫さん出品の「Y

MD ロクセツト GC クラツシュ ヒナ」が輝きました。

共進会の途中で開催されたジュニアリードマンシヨウでは、小さな子供達が懸命に牛をリードする姿に会場からは応援の声があがっていました。また、女性リードマンシヨウでも多くの方々に参加していただき、凛々しく堂々とリードする姿に会場が沸いていました。

昼食休憩では、毎年好評の青年部・女性部に協力していただいた牛ロースカット、ミルク豚汁の無料提供もあり、大変好評でした。

春のシヨウも一段落し、これから牧草収穫で忙しくなることと思います。農作業事故や体調には充分にご留意の上、来るシヨウに向けさらに研鑽を積んでいただき、秋にはより一層白熱した戦いが見られることを楽しみにしたいと思います。



JA中春別乳牛共進会(1等賞1席)

部	名	号	生年月日	父	牛	出品者					
1	プロミネンス	エタゾン	ダイヤバツク	H30.12.4	ミスター D アツプル	ダイヤモンドバツク	寺澤 佳吾				
2	SBF	サンシャイン	SM ケイテイ	H30.11.15	ウォールナツトロン	ソロモン ET	竹田 潤				
3	YMD	リディア	AW ソロモン	ベイビーJR	H30.7.22	ウォールナツトロン	ソロモン ET	山田 侑甫			
4	YMD	ロクセツト	GC クラツシュ	ヒナ	H30.3.3	マーベリック	クラツシュ	山田 侑甫			
5	SBF	サンシャイン	DMN カレン	ET	H29.12.3	バルビツソ	ドアマン ET	竹田 潤			
6	JH	TKS	ハーゲン	アツト	ブルツク	ET	H29.9.8	メーブルタウンズアイ	G W アツトウツド ET	(株)なかしゅんべつ 未来牧場	
7	YMD	スノー	マツカチエン	ベルベツト	ET	H28.10.14	デスー	BKM マツカチエン	1174 ET	山田 侑甫	
8	プレゼント	ラツキー	デコール	ゴールド	シヨツク	H27.8.6	MS	アトリーズ	SHT アフターショツク	ET	中西 裕哉
9	ライプリー	K	アツトウツド	リリー	H26.7.19	メーブルタウンズアイ	G W アツトウツド	ET	山田 光男	出品	
10	プロミネンス	パラゴン	クリステイーナ	アイオーン	H25.12.14	ミツドフィールド	CCM	アイオーン	寺澤 佳吾	出品	

JA中春別乳牛共進会チャンピオン牛

シニア・チャンピオン ライプリー K アツトウツド リリー H26.7.19 山田 光男 出品
 リザーブ・シニア・チャンピオン プロミネンス パラゴン クリステイーナ アイオーン H25.12.14 寺澤 佳吾 出品
 ジュニア・チャンピオン YMD ロクセツト GC クラツシュ ヒナ H30.3.3 山田 侑甫 出品
 リザーブ・ジュニア・チャンピオン ライプリー K ソロモン ルシル H30.5.4 山田 光男 出品

最多出品者賞 寺澤 佳吾さん (8頭出品)

最優秀ジュニアリードマン 牧野 ゆめかさん (保護者: 牧野 修二さん) 参加者 13人

最優秀女性リードマン 1位 石黒 瑞歩さん 2位 山田 ひろみさん 3位 浮川 優子さん 参加者 14人

ホルスタイン写真コンテスト

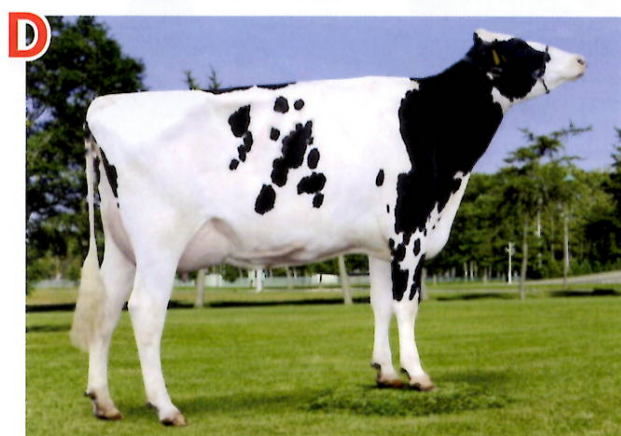
中春別乳牛改良同志会(寺澤佳吾会長)では、毎回好評であります「ホルスタイン写真コンテスト(2歳クラス)」を行いますので、投票要項に注意してお早めに応募して下さい。

予想投票応募要項

- 1.同封しています予想投票用紙に6頭の序列付を行い、その牛の該当記号(A~F)を記入して下さい。また、ベストアダーも記入して下さい。
- 2.全問正解者、また、正解率の高い方に賞品を贈呈

致します。なお、正解者多数の場合は抽選により決定致します。

- 3.住所、氏名、記号は、はっきりわかりやすく記入し、投票用紙を畜産課(畜産指導係FAX76-3006)または、授精師にお渡し下さい。
- 4.応募〆切は、8月16日となっておりますので期日までに応募して下さい。
- 5.序列・講評と全問正解者(当選者)は9月号で発表いたします。



援農体験で食の「安心・安全」を理解

生活クラブ連合会 夢都里路くらぶ援農体験2019

今年で9年目となる夢都里路くらぶ援農体験を6月12日～14日の3日間の日程で、生活クラブ生協組合員3人(渡辺瑞樹さん、栗原富智枝さん、望月亜紀子さん)を招き、(株)なかしゅんべつ未来牧場で援農体験を実施しました。



牛に感動し、最新鋭の搾乳機器に驚く

中春別農協到着後、3日間の行程についてのオリエンテーションを行い、(株)なかしゅんべつ未来牧場へ向かいました。到着後、明日より始まる作業内容の確認のため、施設内を回りました。参加者は近くで見る牛に感動し、また、搾乳施設内において、自動化された最新鋭の搾乳機器に驚き、酪農現場でも労働力の軽減に取り組んでいることに、とても関心を寄せていました。夜には消費者と直接話せる貴重な機



哺乳、搾乳作業を体験

2日目からは本格的な作業が始まり、共和育成センターにて、ホル雄牛の出荷する様子を見学し、次に子牛への哺乳作業を体験しま

会として、懇親会を行いました。中春別酪農対策協議会より山崎会長、伊藤常任委員、女性部より、南澤部長、西原副部長、山本副部長、(株)なかしゅんべつ未来牧場から友貞専務、研修生、職員が参加し、生産者と消費者の貴重な意見交換の場となりました。

した。小さいながらも力強く、哺乳瓶を吸う様子に思わず体がもってかれそうになっていました。

次は搾乳作業。ミルクラーを使うのも当然初めて。ミルクラーをつけるのに試行錯誤しながら1頭1頭丁寧に装着し、実際に搾乳されている光景に「こんなにつばいの量が出るんだ!」と牛乳の出る量に驚きながらの作業で2日目を終えました。

「安心・安全」を確認

3日目は、早朝より搾乳作業、哺育、育成作業、除糞作業、餌寄せと一通りの作業を行い、最後



に座学を行って、援農体験を無事終えることができました。

2泊3日と短い日程ではありましたが、食卓に並ぶ牛乳・乳製品や牛肉がどのような場所で生産・製造されているのかを見ていただき、今後の消費拡大に繋がればと思います。

参加された方は、援農体験で消費者と生産者とのコミュニケーションを図り、「安心・安全」を十分理解いただいたのではないのでしょうか。

株なかしゅんべつ未来牧場
**研修生
 紹介**
 ⑩



4月から「株なかしゅんべつ未来牧場」へ研修生として入り酪農の実習をし、将来、酪農の道を目指す千葉雄介さんご家族を紹介します。

千葉雄介さんご家族をご紹介します

千葉雄介(ちば ゆうすけ) 36歳
 札幌市出身
 趣味:特技 キャンプ
 妻 奈々子(ななこ)36歳
 長男・隆之介(りゅうのすけ)10歳
 長女・怜奈(れいな)8歳
 次男・吟之介(ぎんのすけ)5歳

シビアで奥の深い酪農の仕事

Q1 なかしゅんべつ未来牧場へ研修に入ろうとした動機を教えてください
 A. 酪農未体験のため、基礎から学べる研修牧場を探していたところ、施設の設備が新しく、生活環境も良い未来牧場に決めました。

Q2 酪農に抱くイメージは
 A. 研修に入る前は、のんびりとした牧歌的なイメージでしたが、今は生き物相手のシビアで、奥が深い仕事だと感じています。

Q3 地域の酪農仲間たちに
 A. よろしくお願いします。

Q4 将来の希望・夢を教えてください
 A. 人も牛も、のびのびとできる牧場を目指したいです。



㈱なかしゅんべつ未来牧場
**研修生
 紹介**
 ②



4月から「㈱なかしゅんべつ未来牧場」へ研修生として入り酪農の実習をし、将来、酪農の道を目指す二俣太一さんご夫婦を紹介します。

二俣太一さんご夫婦をご紹介します

二俣太一(ふたまた たいち)
 34歳
 鉦路町出身
 趣味:特技 釣り
 妻 光(ひかり)31歳
 北見市出身
 趣味:特技 映画鑑賞

家族ででき、やりがいのある仕事

Q1 なかしゅんべつ未来牧場へ研修に入ろうとした動機を教えてください

A. 新しい研修牧場があること、将来自分たちが希望する経営規模に近かったため。

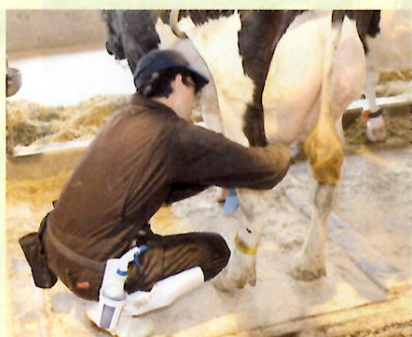
Q2 酪農に抱くイメージは

A. 休みが無く、体力的にも辛いように思えますが、家族で一緒に頑張れる、やりがいのある仕事だと思っています。

Q3 地域の酪農仲間たちに一言

Q4 将来の希望・夢を教えてください

A. 人も牛も、のびのびとできる牧場を目指したいです。



中春別農協年金友の会（高橋昌晴会長）では、6月3日（月）に中春別ふれあいセンターにて第35回通常総会を開催しました。

始めに高橋昌晴会長より開会挨拶、来賓から小湊組合長、吉井誠人北海道信連釧路支所JAバンク推進課長より祝辞をいただき議事へと移りました。



総会進行にあたり、議長には豊原地区の渡辺栄顕氏を選出され、議事が進められました。議案第1号「平成30年度事業報告並びに収支決算について」、議案第2号「令和元年度事業計画（案）並びに収支予算（案）」について、議案第

3号「役員改選について」以上全議案可決承認されました。

仲間と連帯の輪を広げ、心ゆたかな活動を



第35回通常総会
年金友の会

新規会員の加入を促進

新役員は次の通りです。

会 長	高橋 昌晴
副会長	中村与之進
幹 事	尾形 春雄
	平間 勉
	杉谷ヒデ子
	木戸口幸子
	山口ツル子
	関口 和子
	木村 和子
監 事	南澤 明子
	平林美知子
会 計	鈴木 郁夫

春季スポーツ交流会
初めてのボッチャとパークゴルフを楽しみました

総会終了後は、春季スポーツ交流会としてボッチャとパークゴルフを行いました。ボッチャは24人参加のもと行いました。ボッチャは東京パラリンピック競技でもあり、ほぼ全員が初めての競技なので、ルールはわかりやすく行いました。白い球をめがけて自チームの球を投げる競技ですが、近くに寄せたり、狙ったところにいかなかったりと、周りで見ていても



わかるので皆さん大変盛り上がりました。昼食後、中春別ヘルスパークにてパークゴルフを20人参加者のもと行いました。パークゴルフをやるには絶好の天候でした。皆さん本当に上手で、終始楽しく、競技を終えることができました。

9月にもスポーツ交流会を行う予定です。会員の皆様のご参加をお待ちします。

ております。また、年金友の会に加入ご希望の方は、中春別農協の窓口へお越し下さい。



中春別小学校 大運動会



笑顔輝け中春っ子
1等賞

がんばる気持ち



6月2日(日)子供たちが待ちわびていた中春別小学校大運動会が開催されました。雨の予報により延期の心配もされましたが、天候に恵まれての開催となりました。子供たちは元気に選手宣誓。ラジオ体操で体をほぐした後、競技に入りました。全校生徒による徒競走や綱引き、玉入れ、組体操、リレーと客席の父兄や仲間たちの声援の中、自分の勇姿を見せようと日頃の成果を十分に発揮し、均衡した勝負となりました。また、個人競技や団体競技のほかにも、父兄による綱引きや親子で協力し合い行う競技もあり、終始盛り上がりました。

お昼になるとお腹を空かせた子供たちは一目散に家族のもとへ向かい、お弁当でお腹を満たしました。優勝は404対387で赤組となり、運動会が幕を閉じました。全見

した。お昼になるとお腹を空かせた子供たちは一目散に家族のもとへ向かい、お弁当でお腹を満たしました。優勝は404対387で赤組となり、運動会が幕を閉じました。全見



青空に生徒たちの歓声が響き渡りました



みんなで力を合わせて懸命に引きました





バトンの受け渡しも上手

親子で力を合わせて

顔を真っ赤にして真剣勝負です

童、親子の絆がより一層深まり、夏を思わせる熱い運動会となりました。参加された皆様お疲れ様でした。

●【経営科】上春別中学校との連携授業

6月4日(火)に上春別中学校の2年生7人が来校して、本校基礎圃場にてカボチャの定植をおこないました。この連携授業は昨年度より実施してお



連携授業の様子

り、農業の専門性を養うのと同時に、中学生に高校生が農業技術を指導することをとおして、社会性や指導性の向上を目的とした取り組みとなっています。

来校した中学生は、まず、温室にてカボチャ栽培についての説明を受けた後、本校基礎圃場に移動して、高校生の指導を受けながら定植を丁寧におこないました。中学生の感想として、「かぼちゃを定植するには、たくさんの工程があることを知りました。」「高校生のみなさんが丁寧に教えてくれたので、わかりやすかったです。秋の収穫でも多くのことを学びたいです。」といった言葉がありました。

秋にはカボチャの収穫実習を、中学生を招いて実施する予定となっております。

●【経営科】ふれあい祭りに参加!

6月8日(土)にJA道東あさひふれあい祭りに本校酪農経営科の1年生から3年生のうちの12人が参加させていただきました。このふれあい祭りには、平成26年度よりJA道東あさひ様のご厚意で参加させていただいており、乳牛のリードに生徒達が参加させていただいたり、花苗、野菜苗、チーズなどを販売させていただきました。



ふれあい祭りでのリード体験



農産物販売の様子

当日は、たくさんの町民の方がお見えになり、大変大変有意義な販売実習となりました。1年生の参加生徒からは、「高校に入ってはじめての販売実習でしたが、消費者との交流が自分のためになり、今後の学習に活かしたい」との声が聞かれました。酪農経営科では今後もこうした地元のイベントに積極的に参加していきたいと思っております。

●【専攻科】農業機械研修初級・中級受講

北海道立農業大学校において農業機械研修が初級6月4日(火)～6月6日(木)、中級6月18日(火)～6月21日(金)に実施され、2人の学生が受講し、農業機械についての基本操作や知識、安全に関する講習、点検について学びました。



研修の様子

研修以外でも、寮生活などで、他の研

修生と交流を深めることが出来ました。学生達は、「点検の重要性を理解できたので、今後の牧草収穫の作業に、得た技術と知識を生かして取り組みたいです」と達成感と今後の意気込みを話していました。

●【専攻科】「酪農科学実験

6月10日(月)～21日(金)の10日間、「酪農科学実験」を開講しました。この講義は、自家農場の栄養価や土壌の分析を通して、土壌管理や飼養管理に必要な知識を習得する目的として実施しています。

【飼料分析実験】

飼料分析では牧草中の飼料成分を測定します。牧草に含まれる含有量を実際に見ることが出来るため、日本標準飼料成分表と比較して、粗飼料の実態を知ることができ、良い粗飼料とは何か改めて考える良い機会となりました。



【土壌・堆肥分析実験】

この実験では採草地の土壌分析・堆肥簡易分析により、堆肥中に含まれる成分を知ることが出来ます。

それにより、化学肥料散布時の肥料費の節減を図ることにつながる事が分かり、粗飼料生産の改善について考えるよいきっかけとなったようです。

【学生からの感想】

「飼料・土壌・堆肥分析を実際にやってみると分析にも手間がかかり、難しい内容ではあったが、酪農が様々な分野との関わりの上で成り立っていることが分かった。さらに基礎研究でも実験を行うので、より詳しく調査していきたい」との感想がありました。これらの実験の結果は、今後の研究活動の基礎として活用していきます。



各実験の様子

2019 さしあげ マスマス

JAバンク北海道

田舎のしずかさんへ
あつちのしずかさんへ
お祝いさしあげよう。

あなたの思いに
よりぞう
プレゼント。



JAバンク北海道で新規申込み・お取引すると、さしあげ **マスマス**

年金 受取で!	給与 口座で!
JAネット バンクで!	JAカード 入会で!

新規お取引
申込みの方 先着でさしあげ **マスマス**

2019年12月30日(月)までに、
左記のいずれか1つでも
新規お取引の申込みされた方

よりぞう
グッズなどプレゼント!

対象条件 2019年12月30日までに、年金受取口座、給与振込口座、JAネットバンク、JAカードの
いずれか1つでも新規お取引の申込みされた方

お取引
された方 抽選でさしあげ **マスマス**

2019年12月30日(月)までに、
左記のいずれか1つでもお取引された方

JA特産品を
抽選で **5,000** 名様に **プレゼント!**

対象条件 2019年12月30日までに、年金受取口座、給与振込口座、JAネットバンク、JAカードの
いずれか1つでもお取引された方
応募方法 WEBエントリーのみ応募となります。詳しくはJAバンク北海道のホームページ
(http://www.jabank-hokkaido.or.jp/) または右にあるQRコードからご確認ください。
抽選率 対象お取引された方、1取引につき1口(最大4口)が、応募口数となります。

JAバンク
新規ご利用開始
初めてJAに
口座開設した方
限定!

JAバンクで口座を開設し、それぞれの期間内に対象のお取引をすると **QUOカード** 最大 **4,000円分** プレゼント!

チャンス **1** 毎月500名様にQUOカード2,000円分が当たる!

チャンス **2** 毎月500名様にQUOカード2,000円分が当たる!

最大 **2倍!**

最大 **3倍!**

お問い合わせ先

JA 中春別金融共済課貯金係 TEL0153-76-2314

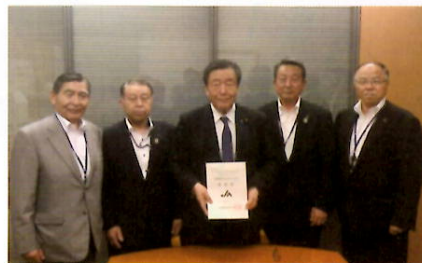
JAグループ通信

JA北海道中央会



JAグループ北海道は、6月13日に吉川農林水産大臣、森山TPP等対策本部長をはじめとした自民党農林幹部、道内選出与野党国会議員に対し、日米貿易協定交渉に関する生産現場の不安や懸念を訴えるための要請を行いました。要請には、JA北海道中央会、連合会の役員ら約20人が参加しました。トランプ大統領がTPPには縛られないことや、期限ありきの合意について言及したことを受け、生産現場で戸惑いが広がっていることから、改めて国内農業に与える影響を検証し、期限ありきの交渉を行わないことなどを求めました。

吉川農林水産大臣からは、農業関係についてしっかり守る考えがあることや、森山本部長からは、早期の合意に関して否定的な見方が示された他、野村農林部会長からは、昨年9月の日米共同声明以上のものにはならない、といった発言がありました。今後も、北海道の農家、組合員が安心して営農できるよう取り組んで参ります。



JA北海道信連



毎年6月、JAバンクで年金をお受取りされている方を対象に、窓口で「招福ようかん」をプレゼントする「年金感謝ウィーク」を開催しています。今年は、6月10日～28日の期間で開催しました。期間中、北海道警察と連携して、特殊詐欺被害防止に向けた合同の啓発活動を全道6JA(6店舗)で実施しました。JAバンク北海道は、地域住民の暮らしや財産を守る地域貢献活動に引続き取り組んで参ります。



JA共済連北海道



JA共済連は、(一財)北海道交通安全協会に飲酒運転撲滅うちわ5万本、(公社)北海道交通安全推進委員会に夏の交通安全運動ポスター9千枚・チラシ5万枚を寄贈しました。「全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」2018年度入賞作品が掲載されており、全道各地で掲示やイベント会場で配布される予定です。このような活動で地域住民の安全意識の高揚を図り、安心と安全の地域づくりに貢献してまいります。



ホクレン



ホクレンは首都圏の主婦層を対象に4月25日から27日までの期間で東京ビッグサイトにて開催された「第12回ホビーッキングフェア」の手作り料理イベント「ふれあいクッキング☆スタジアム」に出展し、北海道産馬鈴しょでん粉100%の顆粒片栗粉「とろりんぱっ」をPRしました。約180人を超える主婦の皆様が「とろりんぱっ」を使った「カリカリ豚丼」の作り方を体験し、同商品の手軽さに驚きの声をあげていました。



JA北海道厚生連



遠軽厚生病院では、新たな健診(オプション)として、睪臓・胆のうドック及び乳腺エコー検査を開始いたします。受診できる人数については限りがございますが、皆さまの健康のお役に立てるよう今後もニーズに合った検診を提供していきたいと思っております。詳細は、病院へお問い合わせいただくかホームページ等でご確認ください。域づくりに貢献してまいります。



JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



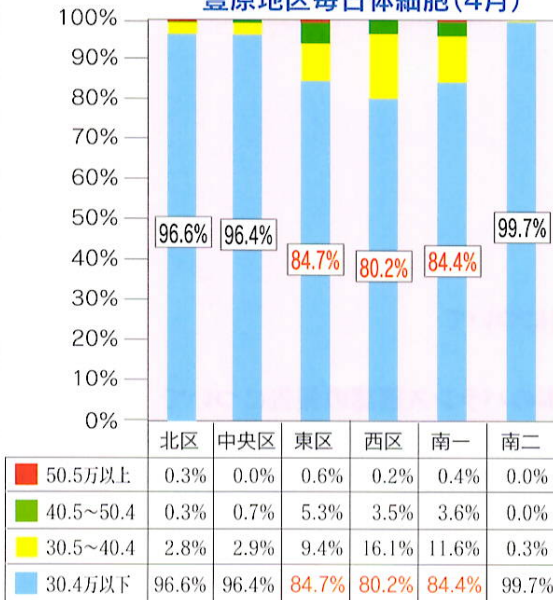
生乳汚染事故を無くせ！！

- **抗菌性物質**混入事故…………… JA中春別発生件数 **0**件 管内合計では**2**件です。
- **生菌**による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- **異物混入、加水、血乳**による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では**1**件です。
- **異臭、異常風味**による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

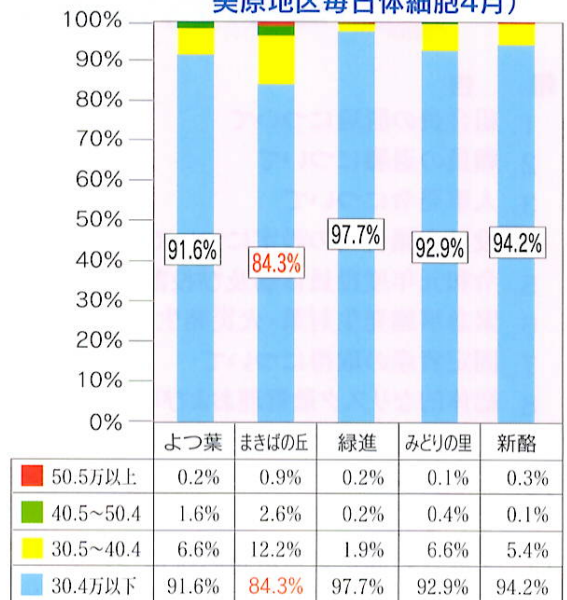
“水とミネラル”とれる環境ですか？ “飲めて、食べられる”夏バテ防止！！

良質生乳生産推進委員会からの標語

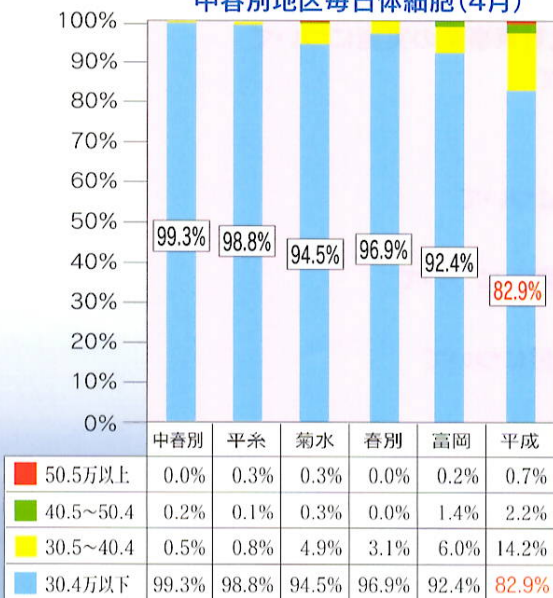
豊原地区毎日体細胞(4月)



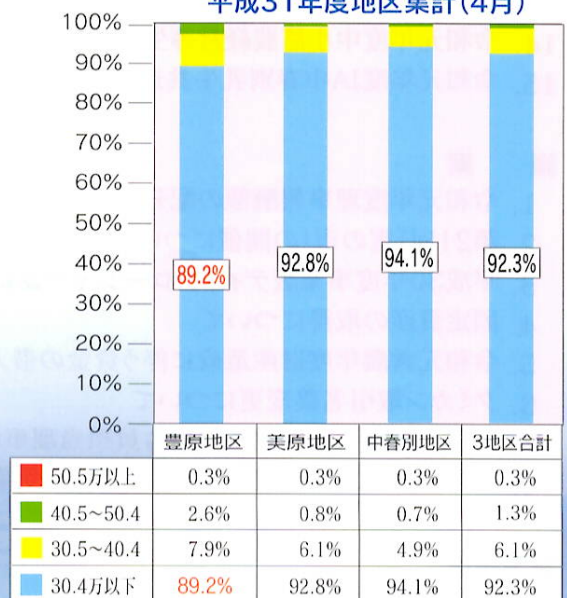
美原地区毎日体細胞4月



中春別地区毎日体細胞(4月)



平成31年度地区集計(4月)





第4回 理事会の動き

令和元年6月7日(金)

議 案

1. 代表理事組合長の選任について
2. 副組合長理事の選任について
3. 専務理事・常務理事の選任について
4. 役員構成について
5. 退任理事に対する退職慰労金の支給について

第5回 理事会の動き

令和元年6月14日(金)

報 告

1. 組合員の脱退について
2. 職員の退職について
3. 人事発令について
4. 役員会議日当の設定について
5. 令和元年度役員体制及び役割分担について
6. 緊急事態発生対策・火災発生対策機構図の変更について
7. 固定資産の取得について
8. 総体的なリスク量管理および事業量・リスク・資本のバランス確認の報告について
9. 内部管理態勢に係る指導要綱・JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
10. 要改善JA綱領・JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち全中および農林中金が定める事項について
11. 子会社の固定資産取得状況について
12. 令和元年度5月末営農関連実績について
13. 令和元年度新規就農に係る事業費について
14. 令和元年度中小酪農経営等生産基盤維持・強化対策事業の実施について
15. 令和元年度JA中春別乳牛共進会の終了について

議 案

1. 令和元年度理事報酬額の配分並びに支給方法について
2. 第21回「宵の市」の開催について
3. 平成30年度事業版ディスクロージャー誌による開示について
4. 固定資産の取得について
5. 令和元営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
6. クミカン取引名義変更について
7. 令和元営農年度特定指導組合員担当理事について
8. 家畜人工授精業務規程及び特注精液・受精卵委託業務規程の一部改定について

協議事項

1. 役員研修の実施について

組合員の広場

小林亮平さんの夜景の「銀河に華く」
をご紹介します。



今月号の組合員の広場は小林亮平さんの作品を掲載いたしました。
組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。
営農振興課・佐々木(電話76-2241番)までお気軽にご連絡ください。

なかしゃんべつ

2019
7月号

Vol 498

アドレス <http://www.ja-nks.jp>

企画・発行/JA中春別営農振興課営農振興係
野付郡別海町中春別南町3番地 Tel.(0153)76-2241

第38回 ホルスタイン写真コンテスト応募用紙

住 所： _____

氏 名： _____

1位	2位	3位	4位	5位	6位	ベストアダー

第38回 ホルスタイン写真コンテスト応募用紙

住 所： _____

氏 名： _____

1位	2位	3位	4位	5位	6位	ベストアダー

第38回 ホルスタイン写真コンテスト応募用紙

住 所： _____

氏 名： _____

1位	2位	3位	4位	5位	6位	ベストアダー